





輝く 89  
 武並町竹折  
 宮地慶樹君 17歳

HUMAN WATCH



## 国体スケート競技で準優勝 努力は裏切らない

ぎふ清流国体（第67回国民体育大会）のスピードスケート競技少年男子1500mで、準優勝に輝いた中京高校2年生の宮地慶樹君。国体少年男子のスケート競技では、県勢で初めて個人として表彰台に上った。地元開催の国体を心待ちにしていた。「絶対決勝へ進み、少しでも上位に」と強い気持ちで臨んだ。直前のインターハイでは、自己記録を更新。入賞の期待も高く、勢いそのままに、会心の滑りで期待に応えた。小学5年生のとき恵那スケート場がオープン。募集していたスケートクラブに入部し、スケート競技に出合った。「最初は下手だった。年下の子に簡単に抜かれるくらい」「下手だったときに味わった悔しさがスケートを続ける動機」と振り返る。風邪で熱があってもリンクへ行くほどスケートにのめり込み、同級生らと競い合いながら上達していった。スケートの魅力は「スピード（時速50から60キロ）が出るところ。自分

が活躍できる場所」と笑顔で話す。昨年の国体では、2種目に出場したが予選落ち。悔しさをばねに、一から滑りの姿勢を見直した。重心を落とすなど、基本に忠実な滑りを追求。「努力は裏切らない」を信条に、試行錯誤しながら改善し続けてきた。スタート前「最初から全開で前に出よう」と心に決めていた。強い気持ちと、抜群の集中力で好スタート。作戦通り先頭で最初のポイントを通り過ぎ。プレッシャーはあったが、レースに集中することで力に変えた。国体を終え「支えていただいた皆さんに感謝したい。皆さんの応援があったので出せた結果です」と感謝する。「強い選手と滑り、課題も見付かった。日本を代表する選手になれるよう努力したい」と、さらに上を目指す。「表彰台の一番上に上がりたい。将来は、子どもたちにスケートを指導し、強い選手を育てたい」と目標を定めた。

### 串原小学校は楽しいところだよ



2月15日、新1年生となる園児6人が、串原小学校を訪れ1、2年生と交流しました。児童たちは、手作りバッチをプレゼントし、ブンブンごまなどで仲良く交流。園児たちは、4月からの小学校が楽しみにになりました。

### チョイトレ体操を取り入れ楽しく子育て



子どもと楽しく体を引き締めようと、こども元気プラザで2月9日、親子でチョイトレ体操が開催。17組の親子は、子どもをお腹に乗せて、起き上がったり、タッチしたり。お腹の上で揺れる子どもたちは大喜びでした。

### クラスが一つになった大縄跳び大会



2月17日、明智小学校で大縄跳び大会が行われ、全校児童224人が競技に挑みました。グラウンドの状況が悪く、ほとんどのクラスが自己記録を更新。練習の成果が発揮され、クラスが一つになった瞬間でした。

### お茶会で保護者にお手前を披露



2月16日、佐々良木保育園で、年長児5人と野井保育園年長児12人の合同お茶会が開催。園児たちは、緊張しながらも稽古で学んだ礼儀や作法を披露し、保護者のお客さんにお茶を運んでもてなしました。

### 今シーズン最後のスケートを楽しんだ



2月19日、恵那スケート場では、3千人を超える来場者が今シーズン最後のスケートを満喫。マスコットの「クリス」も大人気でした。1月に国体が行われた同スケート場は、約7万人が訪れ大変にぎわいました。

### 城下町のひまつりにもち花を準備



2月17日、岩村コミセンで岩村町の町民や恵那特別支援学校の生徒ら80人がもち花を作りました。もち花は、竹の枝に赤と白の餅を交互に付けていくもの。いわむら城下町のひなまつりで、4月3日(火)まで飾られます。

※コミセン＝コミュニティセンターの略